

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>



JF
香川漁連

高松市北浜町 8-25
TEL 087-825-0350
FAX 087-851-0699

第53回放魚祭 小豆島で開催

7月23日（火）午前10時より第53回放魚祭（主催：（一社）香川県水産振興協会、小豆地区漁業組合連絡協議会、香川県漁業協同組合連合会、西日本信用漁業協同組合連合会、（公財）香川県水産振興基金 協賛：香川県、小豆島町、土庄町）が、池田香川県知事、大江小豆島町長、山本土庄町副町長他、水産関係者約70名出席のもと開催されました。これからの豊漁を祈願してタケノコメバル1千尾・メバル2千尾・ヒラメ8千尾を放流し、また、事前放流として4月18日にクルマエビ130千尾・ナマコ900個体を放流しました。式典は、国民宿舎小豆島ふるさと荘で行われ、厳かな神事のあと主催者を代表して嶋野会長が、「稚魚愛護、資源保護の精神を当地小豆島町から全国に発信し、豊かな瀬戸内海を蘇らせることを願っております。」と挨拶がありました。その後、来賓の池田香川県知事、谷久県議会副議長、大江小豆島町長、山本土庄町副町長の方々から祝辞をいただき、続いて、香川県立多度津高等学校海洋生産科の生徒に放流稚魚のお手渡しが行われました。

式典終了後、多くの大漁旗で装飾された放流会場の池田港において、式典出席者と小豆島こどもセンター園児らが小豆島町議会谷議長の合図で稚魚の放流を行いました。放流会場では事前に小豆島こどもセンター園児へ水産教室も実施し、また「おさかなシャトル」水族館に放流稚魚の展示も行いました。



香川県水産振興協会 嶋野会長の開会挨拶

最後に、大漁旗や国旗で装飾を施した地元漁船をはじめ、多度津高等学校の実習船「たどつ」、県有船「やくり」が順次出港し、その後地元地先に帰り稚魚の放流を行いました。

地元小豆島町、土庄町及び健全な種苗を提供していただいた香川県、そして漁業者の方々の協力を得て開催した放魚祭は、晴天にも恵まれ盛況のうちに無事閉会しました。来年度第54回放魚祭は東讃地区において開催予定です。



園児による稚魚放流の様子

瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業 「香川×岡山」食の大博覧会」開催

瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業として、備讃瀬戸に面した岡山県と連携し、瀬戸内の恵みを体感できるイベント「香川×岡山」食の大博覧会が6月22日（土）・23日（日）にサンメッセ香川にて開催されました。会場では、両県の食に関する県産品の魅力発信や販売が行われ、また多彩なステージイベントやワークショップも実施されました。22日のオープニングセレモニーでは池田香川県知事と伊原木岡山県知事が参加され、「香川拓心太鼓」や「岡山うらじゃ演舞」とともに華やかな開演となりました。香川県漁連からは、加工事業部の煮干し商品等の販売、さぬき海の幸販売促進協議会からは、おさかなシャトルの展示と、オリーブサーモン・チヌ団子の試食、貝殻おえかきなどが実施されました。

また、10月19日(土)・20日(日)には岡山県吉備中央町の多目的施設「きびプラザ」周辺でも開催予定です。



↑大行列ができた
オリーブサー
モンモンの試食

←チヌ団子の試
食と、味付け海苔
のプレゼント

↓はまうみクン
がステージでP
Rしました!



新しい組合長紹介

(敬称略)

牟礼漁業協同組合

新任 平田 孝氏
(令和6年6月29日)

退任 石原 與四郎氏



おさかな大使通信

《香川おさかな大使 勉強会》

7月25日(木)に、まなびCANで開催された食育教室「イリコの中にいる変わった生き物を探そう!」に参加し、司会進行を務めました。イベントはDVDなどでイリコについて学ぶことから始まり、その後イリコの中に混ざるイカやエビなどの、通称「イリコモンスター」を探すアクティビティ、そしてイリコの解剖を行いました。特にイリコの解剖では、子供達が興味津々の表情で観察する姿がとても印象的でした。そして、イベントの最後には伊吹産のイリコと香川県のおいでまいを使用したイリコ飯をみんなでいただきました。自分たちが学んだ内容を実際の食事として楽しむことで、食育の意味を実感できたと思います。

今回が初めての仕事で、不安や緊張はありましたが、子供たちが真剣にイリコについて学び、楽しそうな顔を見ているうちに、次第に緊張も和らぎ、私自身もイリコについての知識を深める貴重なイベントとなりました。今回のイベントに参加し、食育の重要性や楽しさを改めて実感しました。今後も香川のお魚についてPRできるよう、引き続き努力していきたいと思います。(石川 桃奈)



イリコモンスターを見つけられたかな?

